

令和3年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法科大学院)

入学者選考試験【後期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 13:00～15:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は5ページある。
3. 解答用紙は、B4版で、小論文【問題1】 (両面印刷)、小論文【問題2】 (両面印刷) の2枚である。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号 (上下2箇所) および氏名 (上1箇所) は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆 (ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。) で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

(文章省略)

出典:毛利透「表現の自由と選挙権の適切な関連づけのために」
法律時報 88 巻 5 号 22 頁(2016 年)
(ただし、出題に際して、文章の一部を省略・変更した。)

問題 1 筆者は問題文に続く箇所、「ルソーとサルトルは、全く逆の方向から、政治的に行
為する人々が実は自分の意思ではなく他人の意思を表明することで、民主政を破壊するとい
う同形の批判を行った。」と述べているが、なぜそう言えるのか、ルソーとサルトルの考えの共
通点と相違点分かるように説明しなさい。(700 字)

問題 2 現代の選挙(日本における選挙に限らない)を認識する枠組みとして、ルソー及びサ
ルトルの議論は説得的であるか、あなたの考えを述べなさい。(700 字)